



子どもの居場所づくり活動シート



活動エリア	種別	団体名	頁
北区中央	子ども食堂 学習支援 その他	★おかえり子ども食堂	1-2
	子ども食堂	★こども食堂 岡ちゃんち	3-4
	プレーパーク	おかやまプレーパーク	5
	その他	つながる@home『ことごと』	6-7
	子ども食堂	子ども食堂 おむすびころりん	8
中区	子ども食堂	うのっこ食堂	9
	その他	子どもの居場所つくしんぼ	10
	子ども食堂 プレーパーク	★ひかり街食堂	11-13
	その他	★みんなの広場まんなか	14-15
	プレーパーク	★親子カフェ@結	16-17
北区北	子ども食堂	★つしまみんな食堂	18-19

※「★」マークがついた団体は、活動シートの他に「新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での取り組みシート」で現在の活動状況を紹介しています。

分野※〇を	①子ども食堂②学習支援 3 プレーパーク④その他												
名称	おかえりこども食堂												
運営団体 (代表者名)	上平 敏子												
開催回数 日時	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂 月1回 年間12回開催 *長期休みに各1回(学習支援) 毎月18日 18:15~19:15 ・フードドライブ 毎月第2土曜日 18:15~18:45 ・発達障がい児をもつひとり親の集い 												
主な開催場所	代表者宅												
参加者数 ※平均的な人数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">子ども</td> <td style="width: 30%;">30名位</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>大人</td> <td>18名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td>15名位</td> <td>合計：60~65名</td> <td></td> </tr> </table>	子ども	30名位			大人	18名			ボランティア	15名位	合計：60~65名	
子ども	30名位												
大人	18名												
ボランティア	15名位	合計：60~65名											
参加費	(1人1回あたり) 大人 200円												
運営費、寄付 ※参加費以外	米、魚、野菜は寄付があります。 各種助成金、寄付(個人)												
構成スタッフ	民生委員 知人 学生ボランティア こども園職員 教員OB 社会福祉士 介護福祉士												
立ち上げまでの流れ ※活動のきっかけ、どのように仲間・場所をみつけたか等	<p>立ち上げ時期 28年 4月</p> <p>子どもの貧困が社会的な問題になってることを知り、「自分たちに何かできないか」と考えた事がきっかけ。自宅開放することにしたのでスムーズに進められた。家族、思いが同じ知人にも話し協力してもらっています。</p>												
活動内容	<p>こどもたちの居場所としてこども食堂を月1回開催。毎回平均60~65名程度参加。高齢者の参加により異世代交流もできた。大家族のようにみんなで食卓を囲み一緒に食事をする。食材提供者を招待して参加しているこども達からお礼のメッセージを送ったり、保健師、栄養士の話の聞いたりする機会も。</p> <p>長期休みには学習支援、午後から料理教室、夏祭り、餅つきなどの体験型の活動も行っている。</p>												
課題	人数が増えてきたため、場所の確保や工夫が必要												

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での取り組みシート

子どもの居場所の名称	おかえりこども食堂
------------	-----------

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での活動状況※該当するものに○

- ・休止等なく活動を継続している
- すでに再開している (時期：令和 2年 4月に再開)
- ・具体的な再開の予定がある (時期：令和 年 月に再開予定)
- ・まだ再開のメドがたっていない (理由：)

2. 活動内容の変更※該当するものに○ 変更あり ・ 変更なし

3. 「変更あり」の具体的な活動内容

開催回数 日時	①弁当配布 月3回/毎月8日・18日・28日 18時15分～18時45分 ②フードライブ 月1回/第2土曜日 18時15分～18時45分 ③発達障害児を持つひとり親の集い
開催場所	代表者宅
対象者	桑田中学校区にお住まいの ①幼児～高齢者 ②ひとり親家庭 ③発達障がい児をもつひとり親家庭
定員(あれば)	①中学生以下の子ども 60食 ②20世帯 ③10人程度
参加費	①・②は無料 ③は100円
活動内容	弁当配布に切り替えて活動している。又、配布回数も3回に増やした。 寄付のあった食品、日用品を無料で提供するフードライブと発達障がい 児をもつひとり親の集い(らっこカフェ)を始めた。

4. 「つながりたい」と思った方が連絡できる公開可能な連絡先があればご記入ください。

代表者：上平 敏子

連絡先：090-5373-9720 (担当：)

メールアドレス：uehira.toshiko.35@docomo.ne.jp

ホームページ URL：

公式 LINE アカウント LINE ID：@937oirqn

SNS 活用※該当するものに○：Facebook Twitter Instagram

分野※〇を	① 子ども食堂 2 学習支援 3 プレーパーク
名称	こども食堂 岡ちゃんち
運営団体 (代表者名)	岡崎 恵実
開催回数 日時	月1回 年間12回開催 第1金曜日 17時00分～19時00分
主な開催場所	自宅
参加者数 ※平均的な人数	子ども 20名～ お弁当の持ち帰り 40食 大人 0名 + ボランティア 0名～ 合計：20名
参加費	(1人1回あたり) 大人 100円
運営費、寄付 ※参加費以外	助成金+寄付金+個人持ち
構成スタッフ	4名 親族にて
立ち上げまでの流れ ※活動のきっかけ、どのように仲間・場所をみつけたか等	立ち上げ時期 H30年1月 5年前に岡山へ引っ越してきて、夫婦で地域に根付く活動をしたいたいと思い始めました。
活動内容	今年から”お弁当の持ち帰り”と”こども食堂”で食べるかの希望を聞いています。また、今年の6月から週に一度、特に大変そうな家庭に無料でお弁当を届けています。長期休みには、今コロナ禍なので屋外行事をしています。
課題	お弁当の数が増えているのでボランティアさんが欲しい！！

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での活動シート

子どもの居場所の名称	こども食堂 岡ちゃんち
------------	-------------

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での活動状況※該当するものに○

- 休止等なく活動を継続している
- **すでに再開している** (時期：令和 年 月に再開)
- 具体的な再開の予定がある (時期：令和 年 月に再開予定)
- まだ再開のメドがたっていない (理由：)

2. 活動内容の変更※該当するものに○ 変更あり • 変更なし

3. 「変更あり」の具体的な活動内容

開催回数 日時	月 1回 / 第1金曜日 17時00分～19時00分
開催場所	自宅(岡山市北区新屋敷町2丁目6-9)
対象者	地域の子どもたち
定員(あれば)	特になし
参加費	(1人1回あたり)大人100円
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> • 月に一度、“お弁当”か“子ども食堂で食べる”かの希望を取り、子ども食堂とミニパントリーをしている。 • 週に一度、大変な家庭へお弁当配布 • 長期休みにお楽しみ行事

4. 「つながりたい」と思った方が連絡できる公開可能な連絡先があればご記入ください。

代表者： 岡崎 恵実

連絡先：080-1454-7441

メールアドレス：okachanchi_kitchen@gmail.com

ホームページ URL：

公式 LINE アカウント：

SNS 活用※該当するものに○：Facebook Twitter Instagram

子どもの居場所づくり活動シート※普段の活動 記入日：令和2年11月11日

分野※○を	1 子ども食堂 2 学習支援 ③ プレーパーク 4 その他
名称	おかやまプレーパーク
運営団体 (代表者名)	特定非営利活動法人岡山市子どもセンター 代表理事 美咲 美佐子
開催回数 日時	毎週5日 年間 216日開催(2019年度) 4月～9月：10時～17時/10月～3月：10時～16時
主な開催場所	国際児童年記念公園こどもの森
参加者数 ※平均的な人数	子ども 780名/月 大人 500名/月 ボランティア 50名/月 合計：1330名/月
参加費	なし
運営費、寄付 ※参加費以外	・赤い羽根共同募金地域ささえあいプロジェクトに応募し、 募金を集めている。 ・サポーター(1人1000円)を募集。
構成スタッフ	常勤2名、ボランティア25名
立ち上げまでの 流れ ※活動のきっかけ、ど のように仲間・場所を みつけたか等	立ち上げ時期 2001年 3月 法人格を取得した2001年に当団体の事業としてスタート。 2002年3月に第1回目のプレーパークを開催。 2008年4月から週5日開催を開始。岡山市から公園の一 画を借りて開催を継続している。
活動内容	プレーパークの開設。 (自然素材を使って子どもが自由に遊べ、自分らしく過ごせ る場を参加者と一緒につくっている)
課題	プレーリーダーの雇用(資金)、人材育成 プレーパークに関する行政の窓口(担当課)が無い。

分野※〇を	1 子ども食堂 2 学習支援 3 プレーパーク 4 その他
名称	つながる@home『ことこと』
運営団体 (代表者名)	cotocoto.coto (榎溪 奈美)
開催回数 日時	月 約4回 年間 約48回開催 第 月曜日(祝日の場合、金曜日) 10時～15時
主な開催場所	コミュニティハウスひとひと(北区学南町2-5-55)
参加者数 ※平均的な人数	子ども 3名 大人 5名 ボランティア 2名 合計: 10名/日
参加費	(1人1回あたり) 大人 500円(場所利用料)他
運営費、寄付 ※参加費以外	20万円(福武教育文化振興財団)など
構成スタッフ	9名
立ち上げまでの 流れ ※活動のきっかけ、ど のように仲間・場所を みつけたか等	立ち上げ時期 2020年 10月 【cotocoto.coto】は、「母親の価値と子どもの未来を考え行動する」団体として立ち上げました。各々の任意団体で、“孤立した環境の打開”を目的に、自然体験活動や共感しあえる交流会、自分と向き合いライフスタイルを見直すシェア会などを通して単発的なイベント活動をしていました。しかし、その目的達成の為に、イベントとしての活動だけでは不十分と感じました。 それぞれが歩み、学び続けていた時に、子育て支援員研修で出会い、日常的にふらっと立ち寄れる居場所の必要性を感じていた想いが一致し、二人で立ち上げる事を決意しました。また、インターネットを通じて、コミュニティハウスをキーワードに場所探しをし、偶然検索した場所に興味を持ち、直接アポイントメントをとりお話を聞いてもらったところ、私達の想いに共感してくれたオーナーさんが場所を貸して下さることになりました。

活動内容	<p>未就園児親子だけでなく、子育て中の親、プレママ、中学生、高校生の子どもや、不登校生親子、地域の方、おじいちゃん、おばあちゃんなど、多世代の多様な方が集える居場所です。自分自身の人生が楽しく豊かになるようなコミュニティを作ります。室内や庭を利用して、子どもがおもちゃや絵本などで遊べたり、コミュニケーションの場だけでなく、読書や勉強が一人でゆっくりできるスペースもあります。</p> <p>また、集う人でお茶を飲みながらお話しをしたり、飲食持ち込み OK 出入り OK で、ひとりひとりの自由な時間を過ごすことができる空間です。</p> <p>もうひとつの我が家のように、大きなリビングで育ちあうシェアリビングです。</p>
課題	週に 1 回の居場所ではなく平日毎日空いている居場所づくり

子どもの居場所づくり活動シート※普段の活動 記入日：令和 3 年 4 月 30 日

子どもの居場所づくり 登録シート

記入日：令和3年5月21日

★分野	①子ども食堂 2 学習支援 3 プレーパーク 4 その他	
★名称	子ども食堂 おむすびころりん	
★運営団体	特定非営利活動法人 子ども食堂 おむすびころりん	
団体住所	岡山市北区今5丁目5番16号	
代表者	氏名：岸本 浩二	連絡先：086-250-6768
事務局(あれば)	担当者名：安留 賢二	連絡先：同上
★居場所の 連絡先等	Tel：080-250-6768	E-mail： omusubikororin383@gmail.com
	HP や SNS アカウント： 製作中	
開催回数	月4回 年間 48回開催	
★開催日時	日曜日 17時00分～18時00分	
★主な開催場所	名称：お食事処 アモイ	
	住所：岡山市北区中仙道 1-4-27-1	
★参加費	(1人1回あたり) 大人0円 子ども0円	
参加者数 ※平均的な人数	子ども 25名 大人 25名 ボランティア 5名	合計：55名
構成スタッフ	理事4名・監事1名・スタッフ5名	
運営費、寄付 ※参加費以外	全て寄付によります。(食材及び寄付金)	
活動のきっかけ ※どのように仲間・ 場所をみつけたか等	立ち上げ時期令和2年11月	
	理事長の知人を通じて賛同いただける飲食店を紹介いただき地域の方に趣旨説明をして協力頂いています。	
活動内容	コロナ禍ゆえ、現在はお弁当の配布しかできていませんが将来的には地域のコミュニティとしてお年寄りとの交流や、本の読み聞かせ、宿題のお手伝い等『子供の居場所づくり』をして参ります。	

分野※〇を	① 子ども食堂 2 学習支援 3 プレーパーク
名称	うのっこ食堂
運営団体	うのっこ食堂運営委員会
開催回数 日時	月 2 回 年間 21 回開催 第 1・3 木 曜日 17 時 00 分 ~ 19 時 00 分
主な開催場所	岡山市宇野コミュニティハウス
参加者数 ※平均的な人数	子ども 15 名 大人 1 名 ボランティア 15 名 人数： 31 名
参加費	(1 人 1 回あたり) 大人 300 円 こども 100 円
運営費、寄付 ※参加費以外	助成金 イベントへ出店 知人からの寄付 AMDA 岡山青果食品商業協同組合 地域の人からのお米、野菜
構成スタッフ	宇野学区コミュニティ協議会会長、町内会長、民生・児童委員、地域住民
立ち上げまでの流れ ※活動のきっかけ、どのように仲間・場所をみつけたか等	立ち上げ時期 平成 28 年 4 月 民生・児童委員の研修会で「子ども食堂」のことを知った主任児童委員が、他の民生委員に相談→コミュニティ協議会会長に相談→町内会長、地域住民に声掛け→地域の各団体に協賛してもらいコミュニティハウスであることを決定
活動内容	こども食堂 「地域の子どもたちを地域で育てる」をモットーに支援を行っている。17 時に来て食事ができるまで、みんなで宿題をしたり、遊んだりして過ごす。食事は 18 時頃にみんなで一緒に食べる。
課題	これからの方向性、対象

子どもの居場所づくり活動シート※普段の活動 記入日：令和2年10月2日

分野※○を	1 子ども食堂 2 学習支援 3 プレーパーク ④ その他
名称	子どもの居場所つくしんぼ
運営団体 (代表者名)	子どもの居場所つくしんぼ (野田 扶美子)
開催回数 日時	月 1 回 年間 12 回開催 第4土曜日 10時 00分～ 13時 00分
主な開催場所	宇野コミュニティハウス他
参加者数 ※平均的な人数	子ども 7名 大人 名 ボランティア 5名 合計： 12名
参加費	(1人1回あたり) 大人 100 円
運営費、寄付 ※参加費以外	バザー
構成スタッフ	うのっこ食堂からのお手伝い 主任児童委員 民生委員
立ち上げまでの 流れ ※活動のきっかけ、 どのように仲間・場 所をみつけたか等	立ち上げ時期 2019年 3月 うのっこ食堂のメンバーから地域での食堂がしたい、不登校の子どもたちも一緒に参加させたいとの声があがり、新たな居場所として活動が始まりました。
活動内容	子どもと一緒にクッキング 外でのびのびと遊ぶ 学習につながるゲーム 等
課題	子どもを増やすこと

分野※○を	①子ども食堂 2 学習支援 ③プレーパーク 4 その他
名称	ひかり街食堂
運営団体 (代表者名)	社会福祉法人 生き生き館
開催回数 日時	月 1 回 年間 12 回開催 第 3 土曜日 10時30分～15時00分
主な開催場所	岡山市中区藤原光町3丁目14-1 (サンパレス岡山内)
参加者数 ※平均的な人数	子ども 3名 大人 3名 ボランティア 3名 合計：9名
参加費	(1人1回あたり) 大人 350円、子ども ポイント制 活動内でポイントを獲得し、参加費として支払います
運営費、寄付 ※参加費以外	食材・物品寄付 子どもの居場所づくり促進事業補助金 共催会社からの食材提供 社会福祉法人生き生き館備品の一部を借用
構成スタッフ	社会福祉法人生き生き館、株式会社あいフーズ、株式会社十 禅寺菜園、近隣地域住民ボランティア
立ち上げまでの 流れ ※活動のきっかけ、 どのように仲間・場 所をみつけたか等	立ち上げ時期 R3年2月
	人口減少・超高齢化が進展する中で、地域の中で自助・共助 による結びつきが暮らし方や意識に変化を起し、よりよい 地域づくりに発展すると考え事業展開をしてきました。その 中で当法人が有するスペースの有効活用及び福祉に関する経 験をもとに健康増進等の活動を行い地域とのつながり強化を 図ってきました。 さらなる年齢層の拡大が今後の地域づくりには必要と考え、 地域に向けた食堂(語り場)を開催する事業について、『子 どもの居場所づくり事業』担当者さまに相談したことをきっ かけに子どもから大人まで世代や事情を問わず交流の場とな るよう活動しています。
活動内容	・子ども食堂 食べることにに関する知識と健全な食生活を実践できる力を 育む食育、栽培・収穫による植育、働くということの意義 を考え自分と社会をつなぐ力を育む職育をコンセプトに多 世代での交流を目指し、季節を感じられる食事をみんなで 楽しむ

	<ul style="list-style-type: none">• 語り場、遊び場、学び場 集まる人たちが、それぞれに役割を持ち知恵を出し合い集いの場を創る
課題	<ul style="list-style-type: none">• 地域への定着• 多世代への参加呼びかけ

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での取り組みシート

子どもの居場所の名称	ひかり街食堂
------------	--------

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での活動状況※該当するものに○

- 休止等なく活動を継続している
- ・すでに再開している (時期：令和 年 月に再開)
 - ・具体的な再開の予定がある (時期：令和 年 月に再開予定)
 - ・まだ再開のメドがたっていない (理由：)

2. 活動内容の変更※該当するものに○ 変更あり 変更なし

3. 「変更あり」の具体的な活動内容

開催回数 日時	月1回/第3土曜日 11時00分 ~ 12時00分
開催場所	社会福祉法人 生き生き館 サンパレス岡山 敷地内
対象者	親と子ども合わせた人数
定員(あれば)	10名
参加費	(1人1回あたり) 大人 350円 以上~
活動内容	子ども食堂を行う事で地域とのつながりが続けられるように新型コロナウイルス感染症拡大の状況下であったが弁当の配布を行っている。

4. 「つながりたい」と思った方が連絡できる公開可能な連絡先があればご記入ください。

代表者：

連絡先：086-272-3618 (担当：福万)

メールアドレス：

ホームページ URL：

公式 LINE アカウント：

SNS 活用※該当するものに○：Facebook Twitter Instagram

子どもの居場所づくり活動シート※普段の活動 記入日：令和 3年 7月8日

分野※○を	1 子ども食堂 2 学習支援 3 プレーパーク 4 その他
名称	みんなの広場まんなか・旭竜こどもの居場所
運営団体 (代表者名)	NPO 法人 まんなか (岡田直子)
開催回数 日時	月 6 回 年間 70 回開催 毎週月曜・木土不定期 9時30分～16時30分(昼休憩あり)
主な開催場所	旭竜コミュニティハウス・旧旭竜幼稚園
参加者数 ※平均的な人数	子ども 7名 大人 5名 ボランティア 4名 合計： 16名
参加費	(1人年間) 大人 0円 講座参加料あり
運営費、寄付 ※参加費以外	福武教育文化振興財団助成金、赤い羽根共同募金 備前県民局「笑顔で子育てできる支え合いのネットワークづくり事業」旭竜学区連合町内会の協力団体。
構成スタッフ	9名 (子育て支援員2名、親業インストラクター1名)
立ち上げまでの 流れ ※活動のきっかけ、どのように仲間・場所を みつけたか等	立ち上げ時期 2019年 11月 岡山市立旭竜幼稚園の閉園にともない、その園舎と園庭を活用し、みんなの居場所にできないかという声があった。使用の許可がおりていないので、今ある場所でできることをしたらどうか、という提案をしていただいた。岡山市内で天候に左右されず室内で遊べたり、外遊びもできる場所が少なく、困っている親たちが集まり、立ち上げた。2021年1月法人化。
活動内容	子供が遊ぶのを見守りながら、親たちが交流できる広場、小学生と地域の方の居場所を提供。親向けのワークショップや講座、子供向けの絵本読み聞かせなどを行っている。また不定期で地域向けのイベント(こども夏祭り、ぷちマルシェ、こども服譲渡会など)を開催している。
課題	集客。人件費。駐車場。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での取り組みシート

子どもの居場所の名称	旭竜こどもの居場所・みんなの広場まんなか (NPO 法人まんなか)
------------	--------------------------------------

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での活動状況※該当するものに○

- ・休止等なく活動を継続している
- すでに再開している (時期：令和 2年 6月に再開)
- ・具体的な再開の予定がある (時期：令和 年 月に再開予定)
- ・まだ再開のメドがたっていない (理由：)

2. 活動内容の変更※該当するものに○ 変更あり ・ 変更なし

3. 「変更あり」の具体的な活動内容

開催回数 日時	月6回/毎週月曜・木土不定期 9時30分～16時30分(昼休憩あり)
開催場所	旧旭竜幼稚園、旭竜コミュニティハウス
対象者	乳幼児連れおやこ、小学生、中高生、地域の方
定員(あれば)	名/ 特になし 講座内容によってはあり
参加費	(1人1回あたり) 大人 0円
活動内容	旧旭竜幼稚園の園庭と園舎を利用して、乳幼児おやこや小学生の居場所を提供する。(7/15～R4.2/28) 備前県民局「笑顔で子育てできる支え合いのネットワークづくり事業」 また、旭竜コミュニティハウスにおいても子育て関係の講座や、子供服リサイクル会などのイベントを開催している。

4. 「つながりたい」と思った方が連絡できる公開可能な連絡先があればご記入ください。

代表者： 岡田直子

連絡先： 090-9063-8410 (担当：岡田)

メールアドレス：mannaka.marumaru@gmail.com

ホームページ URL：https://mannaka.amebaownd.com/

公式 LINE アカウント：みんなの広場まんなか

SNS 活用※該当するものに○：Facebook Twitter Instagram

※記入内容は取りまとめて、ネットワーク交流会当日資料とさせていただきます。修正箇所が分かるよう、見え消しで追記・修正をお願いします。

分野※〇を	1 子ども食堂 2 学習支援 3 プレーパーク
名称	親子カフェ@結
運営団体 (代表者名)	NPO 法人オカヤマビューティサミット 柚木幸子
開催回数 日時	月 1 回 年間 12 回開催 毎月最終土曜日 13 時 00 分～16 時 00 分
主な開催場所	岡山市中区湊 467-5
参加者数 ※平均的な人数	子ども 15 名 大人 30 名 ボランティア 1 名 合計：46 名
参加費	(1 人 1 回あたり) 大人 0 円 (工作体験は一家庭 100 円～500 円の時もあり)
運営費、寄付 ※参加費以外	サロン売り上げ、寄付 (個人及び提携団体より)、助成金、 Amazon みんなで応援プロジェクト
構成スタッフ	事業構成人員：法人スタッフ 4 名、ボランティア 1～3 名 (法人構成：理事 3 名 監事 1 名)
立ち上げまでの流れ ※活動のきっかけ、どのように仲間・場所をみつけたか等	立ち上げ時期 R3 年 4 月 (法人立ち上げH27 年 12 月) ・子どもの貧困解決を目指し、ひとり親家庭及び貧困家庭へ就労支援をしているうちに多くの家庭が子どもに「食糧」や「体験」を満足にさせたいという声を聞きました。 ・内容は物資提供にあたるが、親子の居場所をつくることで顔を合わせるたびに親子とスタッフ間で信頼を築いていき相談や情報交換をして問題解決や家庭内に笑顔が増えてほしいという願いから立ち上げました。
活動内容	工作体験。もったいないマーケットで下記のことを配布。 ・生活用品 (洗剤、ティッシュなど) ・食糧品 (お菓子、ジュース、レトルト食品) ・衣料品 (企業および個人からの寄付) ・絵本 (提携団体および個人からの寄付) ・雑誌の付録、おもちゃ (提携団体および個人からの寄付)
課題	来所される方の中にお子さんが「障がい」や「引きこもり」のお悩みを聞くことが非常に多いこと。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での取り組みシート

子どもの居場所の名称	親子カフェ@結
------------	---------

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での活動状況※該当するものに○

- 休止等なく活動を継続している
- すでに再開している (時期：令和 年 月に再開)
- 具体的な再開の予定がある (時期：令和 年 月に再開予定)
- まだ再開のメドがたっていない (理由：)

2. 活動内容の変更※該当するものに○ 変更あり 変更なし

3. 「変更あり」の具体的な活動内容

開催回数 日時	月 1 回 / 毎月最終土曜日 13 時 00 分 ~ 16 時 00 分
開催場所	岡山市中区湊 467-2
対象者	ひとり親家庭、貧困家庭
定員(あれば)	36 世帯
参加費	(1 人 1 回あたり) 大人 0 円 (工作体験は一家庭 100 円~500 円の時もあり)
活動内容	<p>コロナ前は宝石石鹸づくり、バスボムづくりなど工作体験を主に同時開催していました。</p> <p>もったいないマーケットで以下のものをお配りしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生活用品 (洗剤、ティッシュなど) • 食糧品 (お菓子、ジュース、レトルト食品) • 衣料品 (企業および個人からの寄付) • 絵本 (提携団体および個人からの寄付) • 雑誌の付録、おもちゃ (提携団体および個人からの寄付)

4. 「つながりたい」と思った方が連絡できる公開可能な連絡先があればご記入ください。

代表者：柚木 幸子

連絡先：086-206-2700 (担当：佐々木)

メールアドレス：info@okayamabs.org

ホームページ URL：https://okayamabs.org

公式 LINE アカウント：@287icbtr https://lin.ee/OXHP7r4

SNS 活用※該当するものに○：Facebook Twitter Instagram

分野※〇を	① 子ども食堂 2 学習支援 3 プレーパーク
名称	つしまみんな食堂
運営団体 (代表者名)	つしまみんな食堂 前田 泰史
開催回数 日時	月 2 回程 年間 24 回開催 第4日曜日他 10時 30分 ~ 14時 00分
主な開催場所	京山公民館、養護老人ホーム 報恩積善会 他
参加者数 ※平均的な人数	子ども 25 名 大人 15 名 ボランティア 10 名 合計：50 名
参加費	(1人1回あたり) 大人 300 円、子ども 200 円
運営費、寄付 ※参加費以外	参加費、助成金、食材寄付(多少)、フードバンク団体から、施設物品
構成スタッフ	役員5名、学生及び地域ボランティア、津島生活学校 報恩積善会 栄養士・職員(施設利用時)
立ち上げまでの流れ ※活動のきっかけ、どのように仲間・場所をみつけたか等	立ち上げ時期 H30 年 12 月 岡輝学区で行われている「岡輝みんな食堂」などに参加し、自分の地域でも行いたい。福祉施設の地域スペースを利用して子どもとの交流を図る。 子ども対象でワークショップなどを開催しながら、活動の基盤をつくり、施設や地域住民の協力者を見つける。
活動内容	集まった人全員で作って、食べる。栄養士が献立と栄養計算を行い、安心安全おいしい食事作りに。栄養学区の学生さんにもできるかぎり協力を依頼。
課題	主体メンバーがまだ少ないため、活動へ参加してもらいたい。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での活動シート

子どもの居場所の名称	つしまみんな食堂
------------	----------

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での活動状況※該当するものに○

- ・休止等なく活動を継続している
- すでに再開している (時期：令和 2年 9月に再開)
- ・具体的な再開の予定がある (時期：令和 年 月に再開予定)
- ・まだ再開のメドがたっていない (理由：)

2. 活動内容の変更※該当するものに○ 変更あり ・ 変更なし

3. 「変更あり」の具体的な活動内容

開催回数 日時	① つしまみんな食堂月1回/最終日曜日 10時00分~12時00分 ② みんながつながるワークショップ 不定期 2時間程度 ③フードパントリー 月1回程度
開催場所	①京山公民館 等
対象者	京山学区及び近隣小学校区の子どもから高齢者の方まで
定員(あれば)	①ごはんを作って食べる方20名、ごはんを食べるのみの方20名 ②入替制で各回15名程度 ③10~15世帯程度
参加費	①高校生以上300円、中学生以下200円 ②1,000円程度まで ③不要だが、日用品を1点以上提供してもらう
活動内容	①作る・食べるを両方する方、食べるだけの方で集合時間、使用する部屋を分けて開催している。 ②木工等親子で楽しめるワークショップを開催。エリア外の方も受入可能。 ③寄付で受け取ったお米や食品の他、助成金を活用して食材を購入して提供している。併せてフードバンクからの賞味期限が近い食品をフードシェアとしてみんなで分ける

4. 「つながりたい」と思った方が連絡できる公開可能な連絡先があればご記入ください。

代表者：前田 泰史

連絡先：

メールアドレス：tsushimaminna2020@gmail.com

ホームページ URL：https://tsushimaminna.jimdosite.com

公式 LINE アカウント：LINE ID @379lycsw

SNS 活用※該当するものに○：Facebook Twitter Instagram

※記入内容は取りまとめて、ネットワーク交流会当日資料とさせていただきます。修正箇所が分かるよう、見え消しで追記・修正をお願いします。